

特別編集

都市生活とインテリアのトータル・コーディネート・マガジン「ロロ」

LORO

mono × MITSUI Designtec

9

定価 1200 円

光と影がつくる

あかりを楽しむ インテリア

LIGHTING・照明特集

ミラノ・サローネ2010レポート

おいしいをつくる、キッチンツール

中川正子さんの「ファミリー・フォト・ストーリー」

完全保存版／個別デザイナーズ・ディクショナリー

鏡と空間のつながり

WORLD BOOK

1冊1200円(税別) 送料別(送料832円)

ワールド・ムック832

#Design News 02

超自然派素材『コルク』のある生活

日本では壁面にメモを貼り付けるコルクボードでおなじみのコルク。素材の特徴としては弾力性があり、水をほとんど透さないため、古くからワインの栓として重用されてきました。ただ、代替素材の出現によってコルクの需要は世界的に減少傾向。この自然派素材の素晴らしさに、もう一度目を向けてみましょう。

(MoMAデザインストアで開催中!!)

(ボルトガルのコルクの木)

ニューヨークと東京・原宿のMoMAデザインストアでは現在、Destinationシリーズ「ボルトガル」を開催中。MoMAが見つけたボルトガルのグッドデザインに注目が集まっている。コルク素材のアイテムももちろん展示。アンブレラ (1万8000円) やトートバッグ (7000円)、腕時計 (7000円) を始め、床材の施工例もある。期間は6月3日〜7月14日。
※MoMAデザインストア ☎03-5482-5201 HP=www.momastore.jp



コルクガシの原産は地中海地方。イベリア半島を始め、南欧や北アフリカなどに分布。温暖な気候の中で大木になり、樹皮を数年に一度剥いて収穫する。樫の木なのでどんぐりが結実し、その実はイベリコ豚などの飼料にも。



世界の約52%を生産するボルトガルのコルク産地。昔ながらの収穫風景も残っています。古くはポルトワインの栓として世界に広まっていった歴史もありますが、最近では合成コルクなどに替わってワイン栓の需要は減少。



コルクは「コルクガシ」という木の樹皮。木の成長に合わせて数年に一度、樹皮を剥いで収穫する。100%自然素材なのです。世界の半分以上を生産しているボルトガルのAPCORR（ボルトガル・コルク工業会）では、この素晴らしい天然素材を使った商品開発に余念がありません。たとえばコルク栓を打ち抜いた後の端材を床材や断熱材にしたり、特殊な加工を施した素材をフアブリックの代用品にしたり、アイデア次第ではいろんな可能性が秘蔵され

ています。クッション性と保温性、臭気性は畳と同じように床材としては最適。ただし、耐衝撃性を利用した精密機械のボディや機軸材などへの利用価値は大きいのです。左の壁紙のようにランブリエードやクッション、床材など、インテリアアイテムにも柔白い素材。コルクの生産だけでなく、植樹は防砂林の役割も果たす環境に優しい存在なのです。大量生産は望みませんが、環境意識への覚悟が深いデザイナーたちの注目度が上がりつつあります。